

# 形成外科

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	1 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	1 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	3 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	2 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	7 人	

## 2 教員の異動状況

深水 秀一（病院教授）（H19.2.1～19.3.31 助教授；19.4.1～23.9.30 准教授；23.10.1～現職）

藤原 雅雄（病院講師）（H19.4.1～24.9.30 助教；24.10.1～現職）

永田 武士（診療助教）（H21.4.1～23.3.31 医員；23.4.1～現職）

水上 高秀（診療助教）（H24.4.1～現職）

石川佳代子（診療助教）（H23.8.1～24.9.30 医員；24.10.1～現職）

山田 萌絵（医員）（H24.4.1～現職）

金子 愛（医員）（H24.4.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	8.69	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)

(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	1.56	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一、富田浩一、永松将吾、鈴木綾乃、永田武士、金 大志、瀧口徹也、松下友樹、藤原雅雄: 有棘細胞癌に関するクリニカル・クエッションを作成して 形成外科, 55, 727-735, 2012.
2. Fukamizu H, Fujiwara M, Kim T, Matsushita Y, Tokura Y: Development of a three-microneedle device for hypodermic drug delivery and clinical application, Plast Reconstr Surg, 130, 451-455, 2012.
3. Kim T, Fujiwara M, Nagata T, Fukamizu H: Lymphatic flow obstruction by tumor demonstrated using real-time fluorescence navigation, J Dermatol, 39, 745-748, 2012.
4. Fujiwara M, Nagata T, Fukamizu H: Hemiforehead flap for reconstruction of composite facial Defects, J Craniofacial Surg, 23, e369-371, 2012.

インパクトファクターの小計 [ 5.509 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Majima Y, Hirakawa S, Kito Y, Suzuki H, Koide M, Fukamizu H, Tokura Y: Twist 1 as a possible biomarker for metastatic basal cell carcinoma, Acta Derm Venereol, 92, 621-622, 2012.

インパクトファクターの小計 [ 3.176 ]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一: ケロイド、肥厚性癬痕。山口 徹、北原光夫、福井次矢編。今日の治療指針。医学書院、東京、2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Fujiwara M, Nagata T, Matsushita Y, Fukamizu H: Free hemiback flap with surgical delay for reconstruction of extensive soft tissue defect: a case report. Microsurgery 33:152-155, 2013.

インパクトファクターの小計 [ 1.555 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

#### 4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

#### 5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(455 万円)
(4) 財団助成金	1 件	(40 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	2 件	(81 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

学術振興会、皮膚悪性腫瘍にこけるセンチネルリンパ節検索パターン解析(JSPS 24591625)

平成 24-26 年度、455 万円

(4) 財団助成金

天野工業研究所基金研究費助成、リンパ流速度測定による癌のリンパ節転移診断法の開発

平成 24 年度、40 万円

(5) 受託研究または共同研究

#### 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

#### 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	3 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	5 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

1. Fujiwara M: Negative pressure therapy with irrigation for digits and hands: pressure measurement and clinical application. 4<sup>th</sup> Congress of the World Union of Wound Healing Societies. 2012.9.2-6. Yokohama.
2. Fukamizu H: Development of three-microneedle device for transdermal drug delivery and clinical application. 11<sup>th</sup> Japan-Korea Congress 2012.5.17-19.

ポスター発表

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表

深水秀一: パネルディスカッション「Sentinel lymph node navigation surgery  
～新たなる取り組みと工夫」第28回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2012.6.29-30.

4) 座長をした学会名

第55回日本形成外科学会総会. 2012.4.11-13.  
第28回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2012.6. 29.  
第21回日本形成外科学会基礎学術集会 2012.10. 4.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

深水秀一：日本形成外科学会評議員  
深水秀一：日本褥瘡学会評議員  
深水秀一：日本皮膚悪性腫瘍学会評議員  
深水秀一：日本創傷外科学会評議員  
藤原雅雄：日本マイクロサージャリー学会評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

Aesthetic Plastic Surgery 【米国：Impact factor: 1.407】3回

Head and Neck Pathology 【米国：Impact factor: 0】1回

The Journal of Dermatology 【日本：Impact factor: 1.493】 3回

Journal of European Academy of Dermatology Venereology 【フランス：Impact factor：2.98】 1回

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

(3) 学内共同研究

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受 賞

(1) 国際的な授賞

(2) 外国からの授与

(3) 国内での授賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 皮膚悪性腫瘍におけるインドシアニングリーン (Indocyanine green) と R I を併用したセンチネルリンパ節 (sentinel lymph nodes)の同定と評価
2. マイクロニードル機器を用いたボトックス注入による眉間及び目尻しわとり効果の検討
3. マイクロニードル機器の局所麻酔およびステロイド局注への応用
4. 指尖部・手背の創傷に対する陰圧閉鎖洗浄療法
5. 皮膚軟部組織感染症に対する A B K 高用量投与  
上記 1, 2, 3, 4 について論文発表および学会発表を行った。

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

## 15 新聞，雑誌等による報道